

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	疫学 の概念と医学 研究手法	1. 疫学の定義を説明できる。 2. 医学研究における研究手法を分類できる。 3. 前向き研究と後ろ向き研究の特徴を説明できる。 4. 疫学研究の進め方を説明できる。 5. 患者対照研究の特徴を説明できる。	A P59~65、B P21~28。 形成的自己評価のために予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-1)-① 総(Ⅱ)-10-A~E
2	4/13		1. 介入研究におけるパラレルとクロスオーバーの特徴を説明できる。 2. 医学研究におけるマスキングの意義と種類を述べることができる。 3. スクリーニング検査の有効性を判定できる。 4. 前向き研究と後ろ向き研究におけるリスク要因の影響評価法を説明できる。	A P65~67、B P28~31。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-1)-② 総(Ⅱ)-1-E 総(Ⅱ)-10-F 必12-D-a,b
3	4/20	口腔保健の統計調査	1. 国家統計調査を分類できる。 2. 口腔保健に関する主要な国家統計調査の概要を述べることができる。 3. 歯科疾患実態調査の結果の概要を述べることができる。	A P47~49、B P61~64。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 資料を配布する。	荒川浩久	C-4-1)-①~③ C-4-2)-① 総(Ⅱ)-9-B
4	4/27	歯科疾患の疫学的特徴	1. 歯科疾患の総合的な疫学特徴を述べることができる。 2. 齲蝕の疫学的特徴を述べることができる。 3. 歯周疾患の疫学的特徴を述べることができる。 4. 費用-効果分析、費用-効用分析、費用-便益分析を関連付けることができる。	A P68~78。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-3-2)-① 総(Ⅱ)-10-J,K
5	5/11	Evidence based medicine (EBM) 科学論文	1. EBM 実践の流れを説明できる。 2. EBM レベルの高い疫学研究を列挙できる。 3. 論文の種類と構成について説明できる。 4. 報告書作成のポイントを説明できる。 5. 歯科検診の型を分類し、それぞれの特徴を説明できる。 6. 歯科集団検診実施の流れを説明できる。	A P207~211、B P33。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	B-1-4)-① C-4-1)-① 総(Ⅱ)-10-G,I 必3-A- f 必12-A-a 必12-B-a
6	5/18	データの収集とまとめ方	1. 標本調査の必要性を説明できる。 2. データの尺度分類を説明できる。 3. 標本調査による推測統計学のための抽出法を列挙し、概略を説明できる。 4. 度数分布表の構成を説明できる。	A P58。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 準3-(2)-② 総(Ⅱ)-10-I
7	5/25		1. 正規分布の概念と特徴を述べることができる。 2. 集団の特徴を表す代表値をあげ、それぞれを説明できる。 3. 集団のバラツキを表す代表値をあげ、それぞれを説明できる。 4. 集団における個々のデータの位置を表す値をあげ、それぞれを説明できる。	A P58。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 準3-(2)-①② 総(Ⅱ)-10-I
8	6/1	質問調査	1. 質問調査を分類し、それぞれの特徴を説明できる。 2. 質問紙調査の種類を列挙し、それぞれの利点と欠点を述べることができる。 3. 質問紙調査の回答形式を説明できる。	形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 PC にて集計作業を説明しながら集計させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 総(Ⅱ)-10-I

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	6/8	質問調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 単純集計とクロス集計の違いを説明できる。 2. 単純集計とクロス集計をし、データの特徴を説明できる。 3. 数量データの基本統計量を算出し、データの特徴を説明できる。 	<p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p> <p>PC にて集計作業を説明しながら集計させる。</p>	荒川浩久	<p>C-4-2)-③ 準3-(2)-①</p> <p>総(Ⅱ)-10-I</p>
10	6/15	歯科統計指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 齲蝕の検出基準の歴史的変遷と現在の検出上のポイントについて説明できる。 2. 学校保健安全法による齲蝕の診査法とそれに用いる記号について説明できる。 3. 要観察歯 (CO) について説明できる。 4. 齲蝕経験指数の記号 (D、M、F、d、m、e、f) の意味を説明できる。 	<p>A P49～51。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p> <p>パワーポイントにより解説する。</p>	宋 文群	<p>C-4-1)-③ C-4-2)-③ 準3-(2)-①</p> <p>総(Ⅱ)-10-H 各(Ⅰ)-1-E</p>
11	6/22		<ol style="list-style-type: none"> 1. 齲蝕経験に関する指数を列挙し、それらの意味を説明できる。 2. 齲蝕経験に関する指数を計算できる。 3. 齲蝕経験に関する指数から齲蝕抑制率を計算できる。 	<p>A P50～51。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p> <p>パワーポイントにより解説する。</p>	宋 文群	<p>C-4-1)-③ C-4-2)-③</p> <p>総(Ⅱ)-10-H 必12-A-c</p>
12	6/29		<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 2. 歯周疾患の検出基準を説明できる。 3. 学校保健法による歯周疾患の診査法を説明できる。 4. 歯周疾患要観察者 (GO) と歯科医師による診断と治療を必要とする歯周疾患 (G) について説明できる。 5. PMA 指数について説明できる。 6. Gingival Index (GI) について説明できる。 	<p>A P51～54。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p> <p>パワーポイントにより解説する。</p>	宋 文群	<p>C-4-1)-③</p> <p>総(Ⅱ)-10-H</p>
13	7/6		<ol style="list-style-type: none"> 1. WHO の歯周プローブの使用法について説明できる。 2. Periodontal Index (PI) について説明できる。 3. Periodontal Disease Index (PDI) について説明できる。 4. Gingival Bone (GB) count について説明できる。 5. Community Periodontal Index (CPI) について説明できる。 6. 歯周疾患に関する指標の診査対象歯について、全歯または特定歯 (代表歯) により分類できる。 7. 歯周疾患に関する指標の考えうる最高点数を述べることができる。 	<p>A P51～54。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p> <p>パワーポイントにより解説する。</p>	宋 文群	<p>C-4-1)-③</p> <p>総(Ⅱ)-10-H</p>
14	7/13		<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯垢と歯石の沈着状況の診査法を説明できる。 2. Oral Hygiene Index (OHI) について説明できる。 3. Oral Hygiene Index - Simplified (OHI-S) について説明できる。 4. Patient Hygiene Performance (PHP) について説明できる。 	<p>A P55～58。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p>	川村和章	<p>C-4-1)-③</p> <p>総(Ⅱ)-10-H 必15-AB-a</p>
15	7/13		<ol style="list-style-type: none"> 1. Plaque Control Record (PCR) について説明できる。 2. Plaque Index (PII) について説明できる。 3. 口腔清掃状態に関する指標の診査対象歯について、全歯または特定歯 (代表歯) により分類できる。 4. 口腔清掃状態に関する指標の診査対象歯について、考えうる最高点数を述べることができる。 5. 歯のフッ素症の変化の特徴を説明し、Dean の基準により分類できる。 6. 地域フッ素症指数 (CFI) について説明できる。 7. くさび状欠損 (WSD) の成因について述べることができる。 8. くさび状欠損 (WSD) に関する指標を説明できる。 9. 不正咬合に関する指標を説明できる。 	<p>A P55～58。</p> <p>形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。</p> <p>板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。</p>	川村和章	<p>C-4-1)-③</p> <p>総(Ⅱ)-10-H</p>